

第4学年1組 道徳科学習指導案

1 主 題 名 きまりがある理由 B 規則の尊重

2 主題設定の理由

(1) 価値観

きまりは、人が社会生活を営んでいくうえで、集団の秩序を守っていくために必要なものである。たとえ、きまりとして明記がされていなくても、マナーや約束ごととして守られていることもある。一人一人がきまりの意義や大切さを理解した上で、主体的に守り、よい集団や社会を作っていくことが大切である。このような集団生活の中で、自分本位の気持ちに流され、「これくらいならよいだろう」と自己中心的な行動をとり、周りに嫌な思いをさせてしまうことがある。周りの人たちと気持ちよく生活するためには、どのような行動をとればよいか、一人一人が相手や周りの人の立場に立って考えることができるよう育てていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、それぞれに自分のやりたいことや好きなことがあり、それに対して意欲的に取り組むことができる。しかし、一部の児童には、集団として一つのことをする場面になると、それぞれが自分の気持ちを優先させたり、自分に都合のよい価値観を主張したりして、言い合いになる場面も少なくない。周りや友達がどう思うのか、嫌な気持ちになっていないかまで考えに至っていない。そこで、集団生活をする上で、一人一人が相手の存在を大切に行動することで、みんなが気持ちよく過ごすことの大切さについて考えさせたい。

(3) 教材観

本教材は、雨降りの日に母親と外出した主人公よし子が、バス停近くの店の軒下でバスを待つ人たちがいるにも関わらず、列の先頭に並ぼうとするが、母親の強く制止した態度を見て、自分のした行為について考え始めるという内容である。よし子の「早くバスに乗りたい」という気持ちに共感させながら、黙ったままいつもとちがう母親の横顔を見ているときのよし子の心の動きについて考えさせたい。

3 本時のねらい

- よし子の心の動きについて話し合うことを通して、きまりの意義やきまりを守ることの大切さに気付き、きまりを守ることについて多面的・多角的に考える態度を育てる。

4 準備・教材

- 教材名「雨のバスでいりゅう所で」 出典「小学道徳4」(教育出版)
- 教師……板書カード、教科書の場面絵、ワークシート、心情メーター掲示用
- 児童……心情メーター

5 関 連

道徳 「新聞係」(きまりを守ることの意味)

6 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
方向付け	1 身の回りのきまりについて考える。 (1) どんなきまりがありますか。 ・遊んだ後のボールは片付けよう。 ・トイレのスリッパはそろえよう。 (2) きまりは、誰が決めたのでしょうか。 ・先生達 ・代表委員会 ・そのきまりがあったほうがいと 考えた人。	5	○児童の素直な気持ちを共感的に受け止め本時の方向付けをする。 ○学校生活で身近なきまりを出させることで、普段さまざまなきまりの中で生活していることに気付かせる。 ○きまりが、守られていないときの状況についてや、安全面についても触れる。
	2 教材を最後まで読んで話し合う。		○教材は教師が範読する。場面絵を見せ、登場人物を確認しながら状況を把握させる。
価値の追求・把握	よし子は、どんな気持ちで列の先頭に並んだのでしょうか。	15	○軒下でバスを待つ人たちを場面絵で見せ、状況を把握させる。 ○よし子が雨の中、重い荷物を持って待っている状態に触れる。
	・やっバスが来た。 ・誰も並んでいないし、一番前で並んで早く乗り込もう。 ・お母さんも座らせてあげたい。		

価値の追求・把握	黙ったままのお母さんの横顔を見ながら、よし子はどんなことを考えたでしょう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうして引き戻したの。</li> <li>・ ほら、座れなかった。</li> <li>・ お母さんはどうして怒っているの。</li> <li>・ お母さんそんなに怒らなくてもいいのに。</li> </ul>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ せっかく先頭に並んだのに引き戻され、結局車内で立っている状況を確認し、よし子には不満の気持ちが残っていることを捉えさせる。</li> </ul>
価値の追求・把握	よし子さんは、どうすればよかったと思いますか。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お母さんに怒っている理由を聞き何がいけなかったのか考える。(青赤)</li> <li>・ みんな停留所に並んでいなかったのに先頭に並ぶのはいけなかったのかな。(青赤)</li> <li>・ 雨が降っていたし、自分だったら乗ってしまったかもしれない。(青)</li> <li>・ 並ぶとどこも書いていない。(青)</li> <li>・ 自分のことしか考えていなかった。(赤)</li> <li>・ これからは、周りの人の気持ちを考えよう。(赤)</li> <li>・ 先に待っていた人がいたのに、自分が先に乗ろうとしたのがいけなかったのかな。(赤)</li> </ul>	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心情メーターを使い、立場を示す。 (青) 先にバスに乗る。 (赤) 軒下にいた順にバスに乗る。</li> <li>○ ルールとして示されているわけでもないのに、なぜお母さんが引き戻したのかについて考えさせる。</li> <li>○ 軒下でバスを待つ人たちを場面絵で見せ、バスを待っている人たちの立場にも立って考えさせることで、多面的・多角的な意見を引き出す。</li> </ul>
価値の自覚	3 自分の生活を振り返り自己をみつめる。		
	どうすれば、このような問題はなくなると思いますか。		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の気持ちだけでなく、相手のことも考えて行動する。</li> <li>・ 周りの状況を考えて行動する。</li> <li>・ 自分が行動する前に、していいことなのか、いけないことなのかを考えられるようにしたらいい。</li> <li>・ 割り込みをしないで順番を守るようにするとよい。</li> </ul>	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験とともに、そのときの気持ちについても触れるようにする。</li> <li>○ 学校生活だけでなく、家庭や地域などの場面を例示して、体験を思い起こさせる。</li> </ul> <p>評 自分のことだけでなく、周りのことも考えて行動することの大切さについて、多面的・多角的に考えている。 (ワークシート、発表)</p>
	4 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のことを考えて行動することが大切だと思った。</li> <li>・ きまりがなぜあるのか考えることができた。</li> <li>・ きまりは、自分や周りの人たちのためにあるのだとわかった。</li> </ul>	45

## 7 本時の評価

- 周りの人の気持ちを考え、きまりを守ることの大切さに気付き、皆が気持ちよく生活ができるよう行動しようという気持ちをもっている。(発表、ワークシート)

## 8 備考

- 指導の力点

〈考え、議論する道徳の授業づくり〉

- ・ 主人公よし子の心情だけでなく、母親やバスを待っている周りの人の立場にも立たせることで、多面的・多角的に考えられるようにする。

## 9 指導と評価